

支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開
若い世代の育成に全力をささげる

都民代表:吉田つとむ(町田市議)

<編集発行>

支持政党なし TOKYO
〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評
若者育成・就業支援

(どの世代が税を納めているか

従前から取り組む問題で、生産年齢人口(15-64歳)という用語は、社会の人口構成を正しく表しているのかと言う問題があります。この事態を数字で示してくれるのは、八王子市の調査です。各年齢ごとに、①人口、②納税義務者数、③個人市民税額、④納税義務者1人あたりの個人市民税額をそれぞれ、1の単位まで詳細に記しています。30歳と70歳を比べると、④では、70歳の方が多くなっています。65歳では33歳の納税額を超過しているほどです。

今年の4月から、改正高齢者雇用安定法が施行され、企業に対して、70歳までの希望者への雇用が義務化されました。この法律が忠実に執行されると、従来にも増して80歳くらいまでに高齢者の就労化が進み、どの世代が就労すべきかという年齢の差はなくなるのではないのでしょうか。高齢者にとっては、高齢者が若い世代から面倒を見てもらえるという感覚は無くなるでしょう。他方で、若者にとっては、高い労働力必要とする職場を、経験深い高齢者に奪われる可能性も出てきました。若い世代にとっては、自分の啓発能力を高めることが必須要件の時代に入ったと言えるでしょう。



県民は都心に来ないでという、小池都知事



小池都知事は、コロナ感染者が増えたことで、「エッセンシャルワーカー以外の人は、都外から来ないでほしい」と言い出しました。人や家庭の収入に直結する話であり、人の生活がどのような連関をなしているかをまるで無視した発言です。今回も、エッセンシャルワーカーという英語を使って目新しい感じですが、それを言うなら、役所でそれを実施し、その分、給与カットをして、職員に知事が嫌われるくらいのことをしないと、とても生活者がその暴言を許容できることはないでしょう。

元来、東京都というのは、周辺県と一体になっており(いわゆる首都圏)、そこで隣県の人を阻害するようなスタンスを表明すると、都市機能は大きく崩れる、歯車が狂う事態が引き起こされるでしょう。

人が思うに、「それでは、まず小池都知事はオリンピックを断念しろ」というのが本音でしょう。一般の人には、忍耐、我慢、辛坊を求め、オリンピックは何が何でも開催するでは、政治のバランス感覚が疑われるというものです。

ここに至って、「オリンピックは中止」が現実的な課題になってきました。吉田つとむは、以前から、「オリンピックを中止しよう」と提唱しています。

★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。
★「良識ある保守主義」は、権威を否定し、柔らかい思考にもとづいて議論をする立場です。

支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開
若い世代の育成に全力をささげる
都民代表:吉田つとむ(町田市議)



ブログ 個人HP



メールは
左記を誦読
して送信



インターン生募集中
社会見学・体験勉強

町田市議会は臨時会で予算審議

4月に開かれた町田市議会臨時議会では、一般会計で19億6811万円の補正予算が提案され、本会議、委員会で審議し、厳しい質疑応答を経た上で、可決されました。ちなみに、私は定例会ではその予算案に交通政策が後退しているとして反対討論した上で予算案に反対しましたが、今回は質疑のみで賛成しました。議会全体でも可決で予算案を承認しました。国の予算財源(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)を用いた事業であり、町田市の持ち出しは無い補正予算でした。



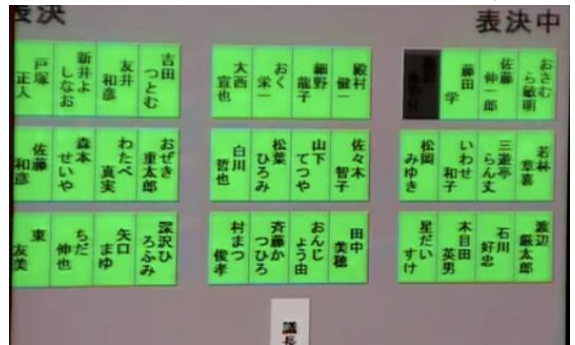
今回はコロナ対策関連予算ということもあり、私が所属する建設常任委員会の審議事項の予算は含まれず、本会議の質疑(キャッシュレス決済事業の対象がPayPayのみとされたこと、コロナ回復期の医療機関への支援事業、医療機関名の公開)を行いました。健康福祉常任委員会では、補助事業の用途の明白化が議論となり、行政が直接把握することの重要性を求める意見が多数出ていました。行政はその意向を受け、コロナ関連の支出であっても、中身を十分に精査されるものと再確認した次第です。

東京都は小池都知事の専決で予算執行

4月、東京都は新型コロナウイルス対策で、総額2583億円を首長(小池都知事)専決で執行することにしました。目的は速やかに対策を実施するためのものですが、現実には「まん延防止等重点措置」の効果が上がらず、適用を見送った「緊急事態宣言」の復活、さらなる強化した措置が必要とされるでしょう。

この補正予算の中には、これまで緩慢であったPCR検査の強化策が盛り込まれますが、今回も飲食店への営業時間短縮措置に対する時短補助金(最低4万円)が含まれ、仕事を休む、閉店するほど補助金が出る制度が継続し、一般には#時短ビジネスという新語まで生まれる状況になっています。

確かに、コロナ感染の拡大防止が公衆衛生は行政の最重要課題であり、休業補助事業の予算化は避けられないとは思いますが、2583億円もの補正予算の執行を、議会の予算審査を経ないで了承することは極めて不可解です。改めて言うまでもなく、議会・議員は、その用途を厳しく問うのが役目であり、それをやらずに済ませるのは、議会・議員の存在価値を自ら放棄する立場だと思えます。



町田市議会の採決表示ボード(全員賛成)

- ★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。
- ★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。
- 昨年春以降の研修では、特別の記念撮影を除いて、行動中は全てマスクをかけています。